

町長退任あいさつ

(前) 小野町長 六戸 良三

2期8年を振り返って

このたびは任期満了により町長職を退任することとなりました。町民の皆さまの永年にわたるご指導ご協力に心から感謝を申し上げます。

任期中に起きました東日本大震災は未曾有の災難であり、全町避難も想定される混乱の中、正確冷静な危機対応を心掛けました。

緊急対策と避難者受け入れ、震災の復旧復興に全力を傾注し、公立病院対応や放射



能対策など万感の思いであります。

2期8年間、私の政治信条であります「公正」「公平」「誠実」「信頼」「実行」を実践すべく、町政執行に真摯に取り組んできました。

役場職員には「公に尽くすこと」と「町民のために真摯に働くこと」と常に説明し、意識改革を進め、行財政改革に重点的に取り組みました。

町長報酬は3割カットし、任期中8年間実行しました。

町の借金である起債は10億円縮減し、大幅に財政を改善する一方、有利な財源を確保し、町にとって必要な公共事業は着実に進めました。

小野中学校の全面建て替え、学校給食センターの建設、町内すべての小中学校の耐震補強工事、光ファイバー敷設や町道舗装工事や側溝整備、道路拡幅など生活に密着したインフラの整備に努めま

した。

また公立小野町地方総合病院の運営には、病院改革プランを策定し、これに基づき患者に喜ばれる医療体制の確立や財政改革など病院の体質改善と地域医療の確保に取り組んできました。

震災により病院の建物は大きな被害を受けましたが、関係者のご努力により新病院建設工事が決定し、平成27年1月の開業に向けて順調に進捗しております。

特に財源に關しまして、当町ご出身の小泉武夫先生をはじめ、ヤマト福祉財団の皆さまには、20億円というものすごい大金の助成をいただき、衷心より感謝申し上げます。であります。

さらに医療機器整備や病院建設の整備に当たっては、浜通り医療復興計画の双葉エリアの医療整備施設に位置づけられ、交付金の助成を受ける

とともに、地域医療の核になる施設として鋭意準備を進めているところであります。

就任時に停滞しておりました右支夏井川の河川改修につきましましては、平成20年度から大幅に事業費が増額できました。平館橋から下流区間は概ね工事が完了し、いよいよ町中心部に入る予定です。

今後の事業につきましては、除染と震災復興、幼保連携のことも園建設や公立病院の建て替え工事、右支夏井川河川改修工事、移転家屋のための住宅用地の確保や町道取



り付け、定住公営住宅などを含めた中心市街地に関する総合的な計画の立案、旧河川敷のパークゴルフ場計画など喫緊の問題が山積しております。

道半ばで退任いたしますが、関係各位のご努力と信頼関係により、懸案を解決し所期の目的が順調に達成されることを心より望んでおります。

町内外の関係者の皆さまに心より感謝を申し上げます。あいさつといたします。